



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 住友ベークライト株式会社
コード番号 4203 URL <http://www.sumibe.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 経理企画本部経理部長

(氏名) 林 茂
(氏名) 山口 晋

TEL 03-5462-4111

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日

平成25年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	93,520	1.5	4,001	△12.1	4,555	△7.0	2,802	41.4
25年3月期第2四半期	92,144	△3.3	4,552	6.7	4,896	△5.7	1,981	△45.2

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 13,619百万円 (794.2%) 25年3月期第2四半期 1,523百万円 (△53.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	11.63	—
25年3月期第2四半期	8.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	230,187	143,720	61.8
25年3月期	213,826	131,311	60.8

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 142,251百万円 25年3月期 130,044百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,000	9.1	10,000	25.7	10,600	24.0	6,400	85.9	26.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	262,952,394 株	25年3月期	262,952,394 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	22,053,557 株	25年3月期	22,042,713 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	240,905,367 株	25年3月期2Q	240,916,706 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国は緩やかな回復傾向にあり、欧州も景気の下げ止まり感が見られましたが、中国などの新興国では成長率が鈍化しました。日本経済も「アベノミクス」への期待から、景気は徐々に持ち直していますが、本格的な回復には至りませんでした。

当社グループを取り巻く経営環境は、半導体につきましては、スマートフォンやタブレット端末の販売が新興国で低価格帯を中心に伸びているものの、ハイエンド機種が伸び悩み、また、薄型テレビなどのデジタル家電やパソコンも低調に推移しました。自動車においては、国内ではエコカー補助金終了に伴う反動減が一巡し、欧州は持ち直しの兆しが見られ、北米、中国も堅調に推移しました。国内の住宅着工件数は、消費税増税前の駆け込み需要や復興需要などにより増加傾向が続きました。

当社グループはこのような経営環境の中、身の丈経営によりスリム化した企業体質を維持しながら、次の方針を掲げて新たな成長に向け総合力を結集して取り組んでまいりました。

①国内既存事業の再生、ビジネスモデルの転換

②新規事業立ち上げ、創生

③海外事業の収益力強化、規模拡大

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、円安効果があったもののフレキシブル・プリント回路事業からの撤退もあり、935億20百万円と前年同期比1.5%の増加にとどまりました。

損益につきましては、連結営業利益は、前年下半期よりは増益となったものの、主力製品の半導体関連材料や高機能プラスチックの販売数量が前年同期水準までの回復には至らず、前年同期比12.1%減の40億1百万円となりました。同じく連結経常利益も7.0%減の45億55百万円となりました。連結純利益につきましては、特別損失の減少などにより、前年同期比で41.4%増の28億2百万円となりました。

セグメント別販売状況（対前年同期比較）

①半導体関連材料

半導体封止用エポキシ樹脂成形材料は、厳しい半導体市況の中、成長市場での拡販に加え、円安による為替換算影響もあり、売上高は増加しました。

半導体基板材料「LαZ®」は、顧客での生産調整や新規立上げ遅れなどの影響を大きく受けて伸び悩みました。

なお、宇都宮工場内に新設した第二工場では、コスト競争力の強化と新たな需要拡大に対応すべく、現在、量産化に向けた体制作りを進めております。

②高機能プラスチック

フェノール樹脂成形材料、工業用フェノール樹脂および成形品は、北米や中国市場で自動車用途が堅調であったほか、円安による為替換算影響もあり、売上高は増加しました。

エポキシ樹脂銅張積層板およびフェノール樹脂銅張積層板は、自動車分野やアミューズメント向けが堅調に推移し、売上高は増加しました。

なお、新製品の高放熱アルミベース基板材料は、充実したラインアップで、既存のLED照明等の家電用途のみならず、パワーモジュールなど幅広い分野でのマーケティングを進めております。

③クオリティオブライフ関連製品

医療機器製品は、「オルフィス CV キット®」などの新製品が寄与しましたが、一部顧客での在庫調整などが影響し、売上高は減少しました。

ビニル樹脂シートおよび複合シートは、医薬品包装向けで新薬が堅調に推移したことに加え、ジェネリック医薬品の普及もあり、売上高は増加しました。

ポリカーボネート樹脂板、塩化ビニル樹脂板のプレート製品は、異常気象の影響による修理需要があった前年同期の水準には及ばず、売上高は減少しました。

メラミン樹脂化粧板・不燃板のデコラ製品は、不燃の薄物メラミン化粧シート「デコライノベア」がホテル、病院等で着実に採用が進んでおり、さらなる用途開発に向け積極的なマーケティング活動を展開しております。

防水関連製品は、復興需要や消費税増税前の駆け込み需要もあり、新規住宅やリフォームは引き続き好調を維持しており、売上高は増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

(2.1) 資産、負債および純資産の状況

①資産の部

総資産は、前連結会計年度末に比べ163億61百万円増加し、2,301億87百万円となりました。

これは主に、有形固定資産が60億16百万円、現金及び預金が44億92百万円、投資有価証券が38億94百万円増加したことによるものであります。

②負債の部

負債合計は、前連結会計年度末に比べ39億52百万円増加し、864億67百万円となりました。

これは主に、流動負債その他が25億50百万円減少した一方で、コマーシャル・ペーパーを50億円増額したことおよび繰延税金負債が14億62百万円増加したことによるものであります。

③純資産の部

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ124億9百万円増加し、1,437億20百万円となりました。

これは主に、配当金の支払12億4百万円があった一方で、為替換算調整勘定が87億19百万円、その他有価証券評価差額金が20億54百万円増加したことおよび四半期純利益を28億2百万円計上したことによるものであります。

(2.2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金および現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ46億9百万円増加し、363億87百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は73億63百万円となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益、減価償却費の計上およびたな卸資産の減少による収入と、退職給付引当金の減少および法人税等の支払による支出の結果であります。前年同期と比べると3億70百万円の収入の減少となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動に用いた資金は93億59百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得および子会社株式の取得による支出の結果であります。前年同期と比べると31億4百万円の支出の増加となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により得られた資金は36億87百万円となりました。

これは主に、コマーシャル・ペーパーの増加による収入と、配当金の支払による支出の結果であります。前年同期と比べると46億54百万円の収入の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の事業環境につきましては、自動車市況は堅調に推移することが見込まれるものの、半導体は、デジタル家電の低迷が続く、パソコンの買い替え需要やハイエンドのスマートフォン・タブレット端末の販売などで先行き不透明感が続いています。

このような状況の中、当社グループといたしましては、グループの総力を結集し、強化した顧客密着型営業体制により拡販に注力し、一層のコスト削減を進め、徹底した「身の文化」による収益構造の改善を図り、業績向上に努めてまいります。

平成26年3月期の業績見通しにつきましては、上述の厳しい事業環境が続くため、平成25年5月10日の公表値を下回る見込みであることから、連結売上高2,000億円、連結営業利益100億円、連結経常利益106億円に修正いたします。

なお、連結純利益につきましては、事業再編等が一段落し、特別損失が当初想定より減少する見通しであり、前回発表予想の64億円を据え置くことといたします。

(単位：億円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益
前回発表予想 (A)	2,100	120	126	64
今回修正予想 (B)	2,000	100	106	64
増減額 (B - A)	△100	△20	△20	—
増減率 (%)	△4.8	△16.7	△15.9	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	1,834	80	86	34

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,056	36,548
受取手形及び売掛金	40,673	42,141
商品及び製品	10,950	11,276
半製品	3,107	3,304
仕掛品	559	612
原材料及び貯蔵品	10,459	10,514
その他	7,140	6,734
貸倒引当金	△70	△54
流動資産合計	104,877	111,078
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,774	30,288
機械装置及び運搬具（純額）	27,254	28,766
その他（純額）	23,257	27,247
有形固定資産合計	80,286	86,302
無形固定資産		
のれん	4,557	4,518
その他	1,523	1,550
無形固定資産合計	6,080	6,068
投資その他の資産	22,582	26,737
固定資産合計	108,949	119,109
資産合計	213,826	230,187

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,649	28,848
短期借入金	9,853	10,266
コマーシャル・ペーパー	12,000	17,000
未払法人税等	813	1,045
賞与引当金	2,558	2,527
事業再建費用引当金	207	92
その他	12,953	10,403
流動負債合計	67,035	70,183
固定負債		
長期借入金	7,700	7,250
退職給付引当金	5,399	5,238
その他の引当金	177	124
負ののれん	52	26
その他	2,149	3,644
固定負債合計	15,479	16,283
負債合計	82,515	86,467
純資産の部		
株主資本		
資本金	37,143	37,143
資本剰余金	35,358	35,358
利益剰余金	79,085	80,683
自己株式	△11,932	△11,936
株主資本合計	139,654	141,247
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,226	6,280
為替換算調整勘定	△12,672	△3,953
在外子会社の退職給付債務調整額	△1,163	△1,324
その他の包括利益累計額合計	△9,609	1,003
少数株主持分	1,266	1,469
純資産合計	131,311	143,720
負債純資産合計	213,826	230,187

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	92,144	93,520
売上原価	65,725	67,968
売上総利益	26,418	25,552
販売費及び一般管理費	21,866	21,550
営業利益	4,552	4,001
営業外収益		
受取利息	57	61
受取配当金	210	230
負ののれん償却額	95	26
持分法による投資利益	—	68
為替差益	127	372
雑収入	212	114
営業外収益合計	704	872
営業外費用		
支払利息	161	140
持分法による投資損失	14	—
雑損失	183	178
営業外費用合計	359	319
経常利益	4,896	4,555
特別利益		
固定資産売却益	312	1
投資有価証券売却益	—	4
受取保険金	59	—
その他	—	1
特別利益合計	372	7
特別損失		
固定資産除売却損	633	176
投資有価証券評価損	163	0
事業再建関連費用	70	17
減損損失	593	30
その他	36	28
特別損失合計	1,496	254
税金等調整前四半期純利益	3,771	4,308
法人税、住民税及び事業税	1,215	904
法人税等調整額	461	545
法人税等合計	1,676	1,449
少数株主損益調整前四半期純利益	2,095	2,858
少数株主利益	113	56
四半期純利益	1,981	2,802

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,095	2,858
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,324	2,054
為替換算調整勘定	366	8,849
在外子会社の退職給付債務調整額	389	△161
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	18
その他の包括利益合計	△571	10,760
四半期包括利益	1,523	13,619
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,369	13,414
少数株主に係る四半期包括利益	153	205

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,771	4,308
減価償却費	5,049	4,901
減損損失	593	30
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△583	△580
固定資産除売却損益 (△は益)	320	174
受取利息及び受取配当金	△267	△292
支払利息	161	140
投資有価証券評価損益 (△は益)	163	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,240	85
たな卸資産の増減額 (△は増加)	61	923
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△788	△153
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,477	△543
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△170	△776
その他	△30	△252
小計	8,517	7,966
利息及び配当金の受取額	274	306
利息の支払額	△163	△144
法人税等の支払額	△894	△765
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,733	7,363
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,335	△8,995
有形固定資産の売却による収入	602	4
投資有価証券の取得による支出	△17	△8
連結の範囲の変更を伴う子会社持分の譲渡による収入	755	—
子会社株式の取得による支出	—	△724
その他	△261	363
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,255	△9,359
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△240	360
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	1,000	5,000
配当金の支払額	△1,204	△1,204
その他	△522	△468
財務活動によるキャッシュ・フロー	△967	3,687
現金及び現金同等物に係る換算差額	△26	2,917
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	483	4,609
現金及び現金同等物の期首残高	26,834	31,778
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,317	36,387

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	半導体 関連材料	高機能 プラス チック	クオリテ イオブラ イフ関連 製品	計				
売上高								
外部顧客への売上高	22,713	35,427	31,643	89,784	2,359	92,144	—	92,144
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	68	28	96	—	96	△96	—
計	22,713	35,495	31,672	89,881	2,359	92,241	△96	92,144
セグメント利益	2,138	2,336	2,091	6,567	31	6,598	△2,046	4,552

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、試験研究の受託、土地の賃貸およびフレキシブル・プリント回路事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△2,046百万円には、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,047百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	半導体 関連材料	高機能 プラス チック	クオリテ イオブラ イフ関連 製品	計				
売上高								
外部顧客への売上高	23,097	38,471	31,612	93,181	339	93,520	—	93,520
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	191	0	191	—	191	△191	—
計	23,097	38,662	31,612	93,372	339	93,712	△191	93,520
セグメント利益又は 損失(△)	2,479	1,785	1,625	5,891	△25	5,866	△1,864	4,001

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、試験研究の受託、土地の賃貸等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,864百万円には、セグメント間取引消去△7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,857百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究費用等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、セグメントの区分方法を以下のように変更しております。

- ・「回路製品」を廃止し、同セグメントに含まれていたフェノール樹脂銅張積層板、エポキシ樹脂銅張積層板等を「高機能プラスチック」に移管いたしました。また、同セグメントに含まれていたフレキシブル・プリント回路は、前連結会計年度において事業から撤退したことにより、「その他」に含めております。
- ・「半導体関連材料」に含まれていた半導体実装用キャリアテープ等は、「クオリティオブライフ関連製品」に移管いたしました。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

各報告セグメントの主要な製品および役務の内容は以下のとおりであります。

報告セグメント	主要な製品および役務の内容
半導体関連材料	半導体封止用エポキシ樹脂成形材料、感光性ウエハーコート用液状樹脂、半導体用液状樹脂、半導体基板材料
高機能プラスチック	フェノール樹脂成形材料、工業用フェノール樹脂、成形品、合成樹脂接着剤、フェノール樹脂銅張積層板、エポキシ樹脂銅張積層板
クオリティオブライフ関連製品	医療機器製品、メラミン樹脂化粧板・不燃板、ビニル樹脂シートおよび複合シート、鮮度保持フィルム、ポリカーボネート樹脂板、塩化ビニル樹脂板、防水工事の設計ならびに施工請負、バイオ製品

(重要な後発事象)

該当事項はありません。